

附属機関等の会議録

会議の名称		令和元年度 第 1 回 田川市男女共同参画審議会
開催日時		令和元年 7 月 1 1 日 (木) 9 時 45 分から 12 時 11 分まで
開催場所		男女共同参画センター 講座室 2
出席者	委員	井上委員、常盛委員、小野委員、成田委員、山中委員、堀委員、長尾委員、内山委員 計 8 名
	事務局	原室長、鶴川主任、柳井センター長 計 3 名
	その他	
議事内容		<p>審議会委員から下記のとおり意見が出されました。</p> <p>(1) 第 2 次男女共同参画プランにおける平成 3 0 年度の実施計画事業の評価について</p> <p>(延長保育事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延べ利用児童数も大事だが、新規登録者数も出してほしい。新規が増えていけば、周知できていることがわかる。</li> <li>・延長保育を求めている人が利用できていることが大事。</li> <li>・男女共同参画の視点から言えば、延長保育を利用しなくてもいいような職場環境に変えていく事を考えるべきではないか。</li> </ul> <p>(一時保育事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延長保育と同様、新規の人数がわかった方が良い。</li> </ul> <p>(病児・病後児保育事業について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用人数よりも、利用したい人が利用できたかどうかの評価でいいのではないか。</li> <li>・周知回数目標値が 1 回では少ない。</li> <li>・利用者数は病気の流行に左右されるので、活動指標の延べ利用児童数は見直しを検討してほしい。</li> </ul> <p>(男性職員の育児参加の促進)</p>

・妻の出産手続きを行った男性職員がいなかった場合は、制度の説明割合の実績値は100%ではなく、判定なしになるのではないか。

・妻の出産手続きを行った男性職員の人数を記載してほしい。  
(女性職員の研修への参加促進)

・参加した研修の件数だけでなく、人数を記載してほしい。

・男女両方が学べる機会を増やしているという意味で、男性の参加人数もカッコ書きで入れてもいいのではないか。

(女性リーダー育成に向けた学習の場の提供)

・子育て世代にもっと参加してほしい。幼稚園等の連携や周知・告知の工夫が必要である。

・周知回数を活動指標に追加してはどうか。

(市におけるセクシュアル・ハラスメント、パワーハラスメントの防止に向けた取組)

・パワハラは自治体職員のうつ病や休職の主な原因になっているので、全職員を対象に研修を実施してほしい。

・研修の実施が難しい場合は、チラシ配布やポスター掲示でも良いので、啓発活動を実施してほしい。

(性と生殖の健康と権利に関する意識啓発)

・早期妊娠届出率は本当に望んで妊娠した人の割合の目安にもなるので、成果指標として設定する意味は理解できる。

・不妊の原因にもなる性感染症に関する啓発などを指標にしてもいいのではないか。

・不妊治療の助成を希望した人が助成を受けられているかが大事である。不妊治療助成金交付件数の指標は削除せずに、残してほしい。

## (2) 男女共同参画に関するアンケートの結果について

・アンケートの回収率が低いので、中小企業同友会など様々な団体と協力しながら実施する必要がある。

## (3) 県内各市の各種審議会等における女性登用状況について

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局の説明に対して、委員からの質問はなし。</li> </ul> <p>(4) 県内各市の管理職（一般行政職）への女性登用状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局の説明に対して、委員からの質問はなし。</li> </ul> <p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報たがわ6月1日号の男女共同参画特集ページについて事務局から説明。</li> </ul>
問合せ先	人権・同和対策課男女共同参画推進室（☎0947-85-7134）
その他の事項	